

本時のねらい

コマ送り動画を使って撮った写真が変化していく面白さを味わいながら、動きや道具を工夫して作品を作る。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

タブレットのカメラ機能を使って写真を撮ると、ひとつのフォルダに画像が自動的に順番に並ぶので、コマ送り動画を素早く作成し、話し合いながらよりよい作品にすることをねらいにしている。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット PC ・タブレットカメラ ・拡大用テレビ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○めあての確認 「コマ送り動画で人が動く動画を作ろう」 ○注意事項を説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループで分担をする ・一人の持ち時間 ・カメラを固定した状態で撮影を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入として動画サイトにある作品を例で示し、完成形のイメージを掴みやすくする。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○グループに分かれてコマ送り動画を撮影する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教室や廊下、階段に分かれて撮影を行う。 ・撮った写真をプレビュー画面にして矢印を押し続けて、コマ送り動画になっているか確認する。 ○友だちが撮ったコマ送り動画を鑑賞し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・机の上に作品の画面にした状態で置いておく。 ・各自、自由に作品を見ながらワークシートに記録する。 ○よい作品を全体で鑑賞する。 <ul style="list-style-type: none"> ・最も面白いと思ったものを発表する。 ・テレビに投影し、全体で動画を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで活動することで協働学習をしやすくしている。 ・イスの上にタブレット端末を固定し、画角を決めることでその場で何をするか、動きを中心に考えることができる。 ・撮った写真はプレビューで見てすぐに確認することで、グループ内の話し合いがその場で行え、試行錯誤することができる。 ・机の上にタブレット端末を置いたままで自由に閲覧できるようにする。自分で動かすことで何度も見たり、好きなところで止めたりでき、友だちの作品をじっくりと見ることができる。 ・テレビで共有することで、工夫されたものを全体で確認することができ、児童の思考力と表現力向上につながる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のふりかえりを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・次回の作品作りに活かしたいことは何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分では思いつかなかったことも、タブレット端末で友だちの作品と比べられ、次回の作品作りに活かすことができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：黒板を活用しながら少し動かして写真を撮ることを繰り返している場面



写真2：相互鑑賞し、友だちの作品の良さを見つけている場面



写真3：最後に良かった作品をテレビで映しながら全員で鑑賞している場面

児童生徒の反応や変容

- ・導入で動画を見せたことにより、作品を作る意欲が高まっていたのを感じた。
- ・誰でも簡単に作品を作ることができ、図工が苦手な児童でもアイデアを出しながら活動でき、誰もが作品作りに関わることができた。
- ・手軽にできる活動なので、後日、家のスマートフォンでやってみたという児童もいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・他の教科でもタブレット端末を使う機会が多く、写真を撮ることに慣れていたので活動はスムーズだった。
- ・カメラを固定する、少しずつ動く、たくさん撮るといったポイントを提示することでどの作品もスムーズに動いて見えた。
- ・4人のグループを作って活動を始めたが、その中で2人で分かれて作成するグループや4人全員で作成するグループがあった。どれくらいの人数で活動するべきかを考えることが今後の課題であるが、どのグループでも積極的に話し合いをしていたので、タブレットを通じて協働学習がより進められたと感じる。